

河南中「学校だより」

ハピネス河南

校訓 自立 協力 向上

盛岡市立河南中学校 校 報

令和 8 年 9 月 3 日発行 第 4 号

文責 校 長 米 慎 司

2 学期がスタートしました！

はじめに、7月28日に発生した熊本地震、8月13日、14日に発生した千葉豪雨により、犠牲になられた方々の哀悼の意を表し、この猛暑の中、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。1日も早く平穏な生活が取り戻されますことを心より願っております。

さて、本校2学期始業式が8月20日に行われました。生徒の明るい笑顔が、声が、学校に戻ってきたことをうれしく思いながら、私から次のようなお話しをしました。1学期の生徒会期末集会において、各学年が明確な成果と課題を表しました。生活と学習の取組については執行部を中心に取り組んだという自治的な活動がとてもよかったということが大きな成果とし、課題としては、各学年とも授業の受け方、態度について挙げられたことを踏まえ、「2学期は授業を大切にしていこう」ということを確認しました。また、人間関係のトラブル等も多かったことから、改めて、「恕の心を持ち、行動に示して見えるようにしていこう」と確認しました。過ちや失敗は誰にでもあり得ること。大切なことは「同じ過ちは再度起こさない努力をすること」「失敗は成功のもとであるから、失敗を2学期に生かし、成功を目指すこと」、「がんばったことや成果を出せたことはより伸ばして、お互いに成長していくこと」を確認しました。

最後に「誰もが安心して楽しく力がつく学校生活にしよう」、「生み出そうハピネスを 広げようハピネスを！」という言葉を確認し、みんなで「ハピネス河南」を創り上げていこうとお話しを締めました。

2学期も教職員一同頑張ってまいります。保護者の皆様の深いご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

まなびフェスト生徒アンケートについて

1学期末に、本校のまなびフェスト（HP参照）の生徒の項目について生徒からアンケートをとりました。このアンケートから意識の傾向を把握し、2学期以降の指導に生かしていくことが目的です。2学期末に再度同じアンケートを行い、意識の変化を確認する予定です。

調査は、できた⇒4、だいたいできた⇒3、あまりできなかった⇒2、できなかった⇒1とし、肯定的評価（4と3）をパーセンテージで表しています。※下線の項目は80%以上にならなかったもの

Q1 学校生活の充実感（肯定的評価 94.2%）	Q2 考えを深め、表現する力（88.7%）
Q3 授業理解と主体的な学習（85.4%）	<u>Q4 家庭学習（78.5%）</u>
Q5 体力向上・健康増進（83.6%）	Q6 あいさつ・服装（94.5%）
Q7 生徒会活動（93.1%）	Q8 ルール・モラル（96.7%）
Q9 朝読書（89.8%）	Q10 夢や目標に向かう努力（93.4%）
Q11 人との関わり（96.7%）	Q12 人の役に立ちたいという気持ち（90.9%）
Q13 相手を尊重する学級づくり（95.3%）	Q14 いじめは絶対にいけない（97.4%）
<u>Q15 スマートフォン・ゲーム等の利用ルール（71.2%）</u>	
Q16 清掃・整理整頓（94.9%）	<u>Q17 地域行事への参加（71.2%）</u>

《全体的な考察と改善の方向性》

① 学校内の生活・人間関係について

生徒の意識調査では、いじめを許さない意識、ルール・モラル、人との関わり、相手を尊重する学級づくり、清掃・整理整頓などは、いずれもおおむね高い達成状況となっています。恕の心

を大切にしながら、互いを尊重し、落ち着いた学校生活を送っており、安心して生活できる学校風土が形成されていると捉えることができます。しかし一方で、そうではない面も確認しています。今後も保護者の方々とより一層の連携を図り、生徒たちの成長を促してまいりたいと考えています。

② 学習面では「できている」から「主体的にできる」へ

授業に関する項目では肯定的評価は高いものの、「だいたいできた」と回答する生徒が多い状況です。今後は、自分で考える、自分の言葉で表現する、分からないことを自ら解決する、学びを振り返るといった、主体的で深い学びをさらに進める授業づくりをしてまいります。

③ 家庭学習とスマートフォン等の利用は関連する課題

家庭学習の達成状況は78.5%、スマートフォン・ゲーム等の利用ルールは71.2%であり、いずれも学校内の生活に関する項目と比べて低くなっています。両者には関連があると考えられ、スマートフォンやゲーム等の利用時間が増えるほど、家庭学習に充てる時間が減少する可能性があります。

改善策として、

- ・家庭と学校が連携し、スマートフォンやゲーム等の利用ルールを定期的に確認する。
(まなびフェストで、夜9時以降は使用しないとしています。)

- ・生徒自身が利用時間を管理し、学習時間を確保した上で余暇時間を計画する力をつける。
- ・家庭学習について、内容・時間・方法を明確にし、取り組みやすい課題設定等を行う。
- ・家庭学習の成果を学校で確認・評価し、継続への意欲を高める。

また、SNS上のトラブルが発生しております。本校においては情報モラルについて指導をしておりますが、今一度、お子さんのスマホの使い方等の管理について、ご家庭でのご指導をお願いいたします。下の「保護者の皆様へお願い」をご確認ください。

④ 地域行事への参加は2学期以降の伸びに期待

地域行事への参加は71.2%でしたが、2学期以降は地域の行事や活動が増えることが見込まれるため、参加の機会も増加の見込みです。今後は、地域行事の情報に関して、お知らせ等がありましたら、生徒たちに積極的に提供し、地域とのつながりを意識できるようにしてまいります。

「保護者の皆様へお願い」 盛岡市スマホルール7か条が出されています

下の7つの取組をお願いします。

①時間の制限

- ・夜9時以降は利用しない
- ・睡眠時間や学習時間をしっかりととりましょう。

②言葉の送信

- ・他の人を傷つける言葉は送らない。
- ・グループにいない人の悪口やうわさ話は書かない。
- ・人を傷つける言葉が犯罪となることもあります。

③画像の送信

- ・個人が特定される画像は送らない。
- ・生成AIやアプリ等で、人の画像を勝手に加工しない。
- ・性的な写真の撮影、人が送信した画像の保存、拡散が犯罪となることもあります。

④SNSの危険性

- ・SNSの「広がりやすい」「消えにくい」「誰が見ているかわからない」などの危険性を理解する。
- ・自分の好きな情報は集まりやすく、皆さんの個人情報や時間が失われているこ

ともあります。

⑤フィルタリング

- ・年齢に応じたフィルタリングを行い、保護者が確認してください。
- ・スマホを通して犯罪被害にあった18歳未満の約9割が設定していません。

⑥困ったら相談

- ・トラブルに巻き込まれたり、気づいたりしたときは、周りの大人にすぐに相談しましょう。
- ・身近な大人に相談しにくい時は、相談窓口も利用できます。(前号の校報を参照)

⑦保護者の責任

- ・保護者には買い与えた責任があります。利用状況を定期的に確認し、フィルタリングや利用時間の見直しを行ってください。

被害にあった場合は、文書や写真等は削除せず、学校、警察にすぐ相談してください！